

報道記者各位

2026年3月16日

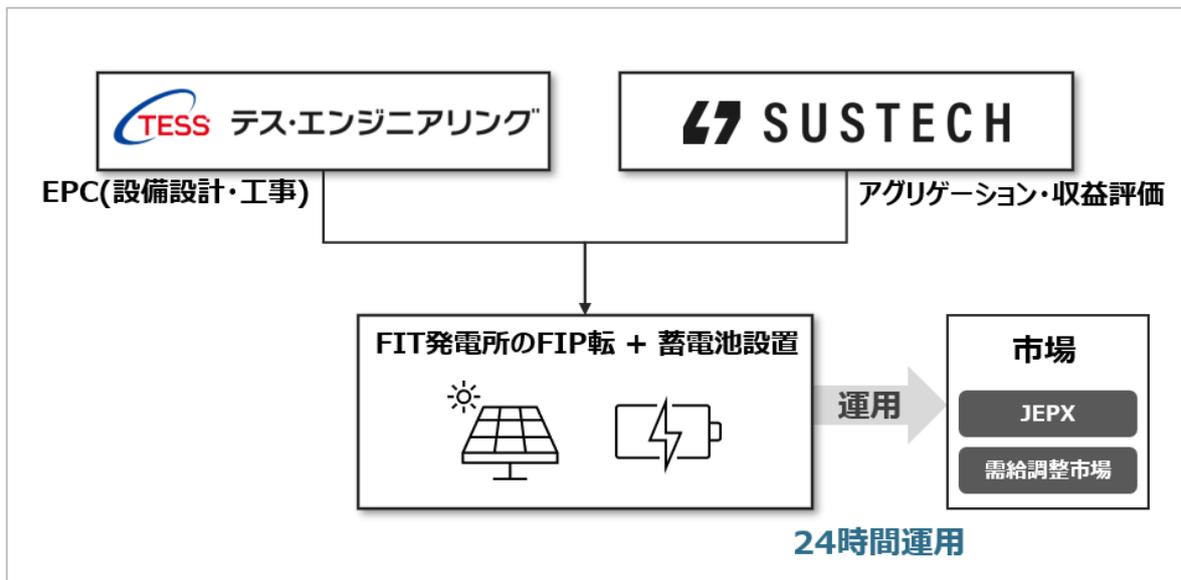
株式会社 Sustech

テスホールディングス株式会社

需給調整市場での運用を前提とした
「FIP 転換×蓄電池併設モデル」の協業を開始
～FIT 発電所の収益最大化を実現する次世代アセット転換を一気通貫で支援いたします～

株式会社 Sustech（本社：東京都港区、代表取締役：丹野 裕介・飯田 祐一郎、以下「Sustech」）とテスホールディングス株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：山本 一樹）の連結子会社であるテス・エンジニアリング株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：高崎 敏宏、以下「テス・エンジニアリング」）は、この度、既存の FIT 制度^{※1}を活用した発電所を FIP 制度^{※2}へ転換し、蓄電池を事後併設することで収益性を向上させる「FIP 転換×蓄電池併設モデル」において、日本の既存再エネアセットの価値最大化を目指した協業を開始することをお知らせいたします。

本協業では、Sustech が FIP 転換後の事業性評価及び AI 電力運用システム「ELIC」を用いたアグリゲーションを、テス・エンジニアリングが既設設備への蓄電池設置設計及び工事を担うことで、FIT 発電所を保有する事業者に対し、事業性評価から設計、施工、運用までを一気通貫で支援する体制を構築いたします。



本協業のイメージ

■本協業の背景

近年、FIT 発電所においては、出力制御の増加の影響を受け、当初想定していた事業収益を下回るケースが各エリアで発生しております。

このような中、出力制御の回避策の1つとして、FIP 制度への転換と蓄電池の追加設置による運用は、有効な選択肢として注目されてきました。日中の発電電力の一部を、市場価格の高い時間帯へシフトすることで収益の改善を図るものです。

しかしながら、実際に国内における FIP 転換と蓄電池併設を一体的に実装した運転開始している発電所の数は限定的です。その背景には、蓄電池設置後の市場運用を前提とした設備設計の難しさ、EPC 検討とアグリゲーション設計を同時に行う必要性、市場収益を織り込んだ事業性評価の高度化といった複合的な課題が存在しており、追加投資の意思決定が困難であることが理由として挙げられます。

そこで、電気事業への知見や運用ノウハウを持つ Sustech と太陽光・蓄電池を始めとした様々な再エネアセットの設備工事の経験が豊富なテス・エンジニアリングが協業することで、発電事業者に対して設備工事・接続申込・事業性評価・運用まで、事業全体の投資推進に関わる多面的な支援を提供することによって、これらの課題の解決を目指します。

■需給調整市場も活用した「24 時間運用モデル」による収益最大化

従前、FIP 転換後の蓄電池の利用方法として検討が進められていた、日中に溜めた電気を市場価格が高い時間帯に放電する「タイムシフト」運用では、電気を高値で売電し、FIP 制度に基づく調整後プレミアムを多く獲得することで収益向上が可能となりますが、蓄電池に溜めた電気を夜間に放電した後は設備が稼働せず待機時間が発生し、設備効率は低いものになってしまう課題がありました。

Sustech は、蓄電池への系統充電を活用しながら、夜間には需給調整市場で併用運用を行うことで、蓄電池の待機時間を最小限としながら収益を最大化させ、残 FIT 期間が短いことや FIT 単価が低いこと等を理由として、従来は投資回収が困難と見られていたアセットでも蓄電池導入が可能となる「24 時間運用モデル」を提供いたします。本モデルにより、蓄電池の年間稼働率を大幅に向上させることが可能となり、追加投資分の早期回収が可能となります。

現在、出力制御の影響を受けている FIT 発電所に対し、無料での簡易事業性診断を実施しております。

■ELIC について

Sustech が開発する「ELIC」は、再生可能エネルギーの普及拡大に伴う課題を克服するために開発された次世代のエネルギーマネジメントシステムです。AI を活用した、分散型電源の管理・運用、発電量や電力需要量の的確な予測、蓄電池の最適制御、グリッド負荷の軽減、環境価値の市場取引等を含む最先端技術により構成される「ELIC」は、再生可能エネルギーの性能を向上させ、「再エネ主力時代の”OS”」として「ゼロ停電」シナリオを目指します。

■株式会社 Sustech について

Sustech は、2021 年に創業し、「Design the New Era of Energy —エネルギーの新しい未来を描く。—」を経営ミッションに掲げ、革新的な分散型電力運用プラットフォーム「ELIC」や脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」など、カーボンニュートラル化を実現する包括的なソリューションを提供しています。Sustech は、テクノロジーを活用した、真にインパクトのあるグリーンビジネスの実現を目指します。

<https://sustech-inc.co.jp/>

■テス・エンジニアリング株式会社について

テス・エンジニアリングを含む TESS グループでは、経営ビジョンに「脱炭素のリーディングカンパニー」を掲げ、エネルギーを多消費するお客さまに対し省エネ・再エネを含む総合的なエネルギーソリューションを提供しております。また、「FIP 転換×蓄電池併設」においては、TESS グループ中期経営計画「TX2030」における注力事業分野の 1 つであり、今後も積極的に取り組んでいく方針です。

<https://www.tess-eng.co.jp/>

※1 FIT 制度：

「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」に基づき、太陽光、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーで発電した電力を、電気事業者が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度であります。

※2 FIP 制度：

再生可能エネルギー発電事業者が発電した電気を卸電力取引市場や相対取引で売電をした場合に、基準価格（FIP 価格）と市場価格の差額をプレミアム額として交付する制度のことであります。

■本件に関するお問い合わせ先

- ・株式会社 Sustech 広報部 03-6722-6301
- ・テスホールディングス株式会社 広報・IR チーム

<https://www.tess-hd.co.jp/contact/>

※TESS グループでは、テレワーク・時差出勤を取り入れております。

そのため、お電話での対応ができない場合がございますので、ホームページよりお問い合わせください。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。